所内オリエンテーリング

概　要		簡易な地図を見ながら、所内に設置されたポイント（カタカナが書かれた切り株）を探させ、見つけた漢字を記録して集合場所に戻らせる。
ねらいとして 考えられること		① グループで協力して活動することを通して、仲間との親睦を深めることができる。 ② グループでの自分の役割や仲間との関わり方を考えることができる。 ③ リーダーシップやコミュニケーションの大切さを学び、協力して課題に取り組む力を高めることができる。 ④ 所内を探索することを通して、豊かな自然に親しむことができる。
対　象		小学校中学年から
人　数		１グループ３～５人程度。２０グループ以内。
場　所		香々地青少年の家　敷地内
時　間		１時間～１時間３０分程度
指導員		一部指導（開始前に説明あり）
活動時期		通年
経　費		なし
事前に準備確認するもの		帽子、タオル、飲料水
引率者の役割	活動前	① 所員と活動内容や活動場所について打ち合わせを行う。 ② 参加者にトイレを済ませるよう指示する。 ③ 活動開始５分前までに参加者を集合場所に集める。 ④ 所員から活動内容や注意事項について説明を受ける。 ⑤ 記録用紙、鉛筆、ボードを配布する。 ※出発の時間差、採点、表彰等は団体が設定する。
	活動中	① 危険な生物に注意するよう指導する。 ② 引率者を④・⑤・⑪・⑫・⑭に配置、参加者の活動状況や安全確認する。 ③ スタートゴール地点にも引率者を配置し、参加者の出発帰着を確認する。 ④ 適宜、水分補給やトイレ休憩を促す。 ⑤ 所内の動植物を大切にするよう指導する。
	活動後	① 解答用紙、鉛筆、ボードを回収する。 ② 振り返り用紙を基に、活動を振り返らせる。 ③ 採点後、成績上位のチームやチームワークの良かったグループなどを発表する。 ④ 人員点呼を行い、参加者全員の安全を確認する。
安全上の留意点		① ハチを刺激しないよう、手で追い払ったり大声を出したりさせず、静かにその場から離れさせる。また、頭部を保護するため、帽子を着用させる。 ② 引率者同士が携帯電話で連絡を取り合い、緊急時に速やかに対応できる体制を整える。また、緊急時（ケガ等を含む）の場合は所員に知らせる。 ③ ヘビが潜んでいる可能性のある草むみや茂みには立ち入らせない。
その他		